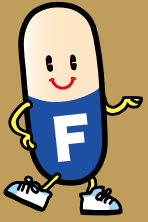


# POWER!



2017年  
1月  
vol. **49**

平成29年(2017年)  
1月20日発行  
発行所 ● 日本薬剤師連盟  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-3  
四谷トーセイビル2階  
TEL (03) 3225-3100  
FAX (03) 3225-3200  
発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>

## 新年挨拶

日本薬剤師連盟 会長 **山本 信夫**



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また旧年中は、本連盟の事業や活動に、ご高配を賜り重ねて御礼を申し上げます。

今年の元旦は、本連盟にとって殊の外、晴れ晴れしく迎える事が出来ました。子供のころから1月2日には「今年の目標」等と大きな夢を描き、その半分も実現出来ぬままにまた翌年を迎える、そんな経験をお持ちの方も少なくないと思います。いつかは、年の初めの計画が成就して、胸を張って新年を迎えたいものだと思っております。児玉先生の後を受けて、本連盟の会長に就任した際の皆様との約束が、「47都道府県連が、組織内候補藤井基之先生の参議院3期目に向けて、一丸となって支援する体制を作ること」です。

その力をもって「必ず3期目の議席を確保できるような力」をばい支援活動する事」でした。皆様のご理解とご支援のお陰をもって、その夢を現実のものとする事が出来ました。物心ついてから初めて、初詣の際に氏神様にお願ひし、そして自ら決めた目標を達成することが出来ました。自分自身が強く心で思わずして物事は達成できませんが、それ以上に信頼できる多くの友人・仲間との協力や支えなしに事は成りません。2017年の新年の嬉しさに浮かれ、驕ることなく、また「皆で力を一つに結集する事」がどれ程目に見えぬ力となって、大きな果実をつかみ取る事が出来たかを忘れることなく、新たな夢・目標に向けて歩みを進めて参りたいと思っております。そして3年後には正夢となるよう、日薬連への皆様の変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

## 新年挨拶

日本薬剤師連盟 副会長兼幹事長 **岩本 研**



新年明けましておめでとうございます。昨年は私共連盟にとって1つの節目の年でした。7月の参議院通常選挙において組織内候補藤井基之先生が3期目の当選を果たす事が出来ました。紙面をお借りしまして皆さまにお礼を申し上げます。藤井基之先生の益々のご活躍をご期待申し上げます。

さて参議院通常選挙後の日本薬剤師連盟の評議員会に於いて次期参議院選挙でも組織内候補を擁立するべきかのお話を多くの方々から頂き、ご決定頂きました。私共執行部はこれに伴い早速候補者選定作業を開始し、選挙総括に於いて次の取りまとめを行いました。

「日本薬剤師連盟の政治力は、直接的には『選挙力』すなわち『集票力』の強さをもって評価される。政治団体は時々の政情や社会環境によって左右されない安定した『集票力』を持たなければならない。安定した『集票力』をつけるためには、『選挙手法』の向上とともに、なによりも政治連盟として『組織体制』の強化が不可欠である。人の生命や健康に直接関わる薬剤師という職能は、法律や制度、規則に則ってその職責を果たしている。また、今日の調剤医療費は7兆円を超え、国家防衛予算

の総額を超える規模となっており、技術料としても1兆7000億円が使用されている。それだけ、国の医療政策、政治に深く関わっている存在である。薬剤師は、日本国憲法第25条によって保障された「健康で文化的な生活を営む権利」を守るべき職能として創設されたものであるならば、その職責を全うするために必要な制度、政策の具現化を目指し、政治活動を展開しなければならぬ。しかしながら現在、組織代表の国会議員は唯一人であり、その職責を果たし得る数とは程遠い環境である。今回の参議院議員選挙後に開催された評議員会では3年ごとに組織内統一候補を擁立することの重要性について議論され、議案として提出された第24回参議院議員通常選挙結果総括中間報告の承認と併せて組織内統一候補の擁立に向けて動き始めることが了承された。我々は二人目の代表国会議員の誕生に向け、28万の薬剤師が一致団結しその本懐を遂げる時は今であることを強く思わなければならない。我々執行部は「Touch to the Next」のキャッチフレーズのもと31年夏の第25回参議院選挙に向けて新しいスタートをきらなければならないと決まっています。

## 新年挨拶

日本病院薬剤師連盟 会長 **木平 健治**



新年明けましておめでとうございます。昨年は、参議院選挙にて藤井基之先生が当選され、薬剤師議員の席を確保できたことを喜ばしく思っているところです。

少子高齢化が進み、病床の機能分化や地域包括ケアシステムの本格的な運用が始まろうとするなかで、薬剤師を取り巻く環境は大きく変わってまいります。特に、かかりつけ薬剤師・薬局の在宅医療・介護サービスの充実など地域の保健医療への貢献が求められています。一方、我々病院薬剤師も機能分化の中、病院の薬剤師間は勿論、かかりつけ薬剤師・薬局との連携、他職種との連携強化により、地域の保健医療に貢献できるチームレスな薬物療法の管理体制を構築することが急務と考えているところです。この

様な変化の時代に対応するためには法律を審議する国会に我々の代表である薬剤師議員を送ることは極めて重要でありま

日本病院薬剤師連盟の目的は、病院・診療所・介護保険施設に勤務する薬剤師の職能の拡大と地位向上のために必要な政治活動を行うこととあります。病院のみならず全薬剤師の抱える課題を、ご理解いただき、ご尽力いただける候補者を推薦または支持し、私達の代表として一人でも多くの薬剤師議員を国会に送るため活動をしております。日本薬剤師連盟の方々と連携を取りながら、本会の活動を行ってゆく所存であります。本年も引き続き、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

## 女性の輝きを更に!

日本女性薬剤師連盟 会長 **近藤 由利子**



2017年の新春をお慶び申し上げます。各位におかれましては、ご健勝にて新年の盃を交わされたこと存じます。

昨年の本号において私は「女性の時代!」を強調させていただきました。このたびの東京都知事選において女性の知事が誕生し、「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」等を打ち出されました。また、東京オリンピックを4年後にひかえ、世界の注目を浴びて手腕が発揮されること期待しています。国や民間企業においても、経営手腕を発揮出来る女性を増やそうとの取り組みがなされていること、ますます女性力の伸長がのぞまれるところです。このたびのアメリカ大統領選において、

ヒラリー・クリントン氏が女性大統領として登場されることが予想されましたが、遂に「ガラスの天井」を破ることが出来ないままでした。さて、私たちは、かねてより地域に密着する薬局を提唱し、地域住民の方とのよき相談相手となるべく学びを重ねてきております。専門知識の深耕はいうまでもありませんが、愛される薬局とはどうあるべきかをいま一度問いなおすことも忘れてはならないと思っております。最後にになりましたが我々の信頼する藤井もとゆき参議院議員の一層のご健闘を期待申し上げます。本年もよろしくご指導、ご厚誼の程をお願い申し上げます。

## 風力計



日本薬剤師連盟 副幹事長 **鳥海 良寛**

Touch to the Next! あけましておめでとうございます。毎年、反響するがごとく湧き出て来る格言がある。「汝、何のためにそこにありや」とは、秋田出身の教育者、鈴木健次郎先生の呪文ともいえる言葉だ。

格言には指針と教えがあり「心不乱」「有言実行」のように自ら考える必要はなく、そのまま受け取れば良い。しかし、鈴木氏の格言は「問い」になっていて、「答えがない。故に、時を経ると、答えが違ってくる。世相や自分の立場、そして、また一年積み重ねた経験が答えを変えてくれる。」

かつて、薬局は雑貨屋であった。また、覚せい剤が普通に売られていた時代もあった。分枝子君を作り出した昭和三十年前後の医薬分業闘争、処方箋発行のために必要悪とも言われた第二薬局があり、処方箋が発行されることのみで囚われていた時代、薬剤師は何を考えたのだろうか?

医制から百四十二年の時の流れと共に、薬剤師のあり方が変遷してきたのも当然である。そして、私たちは諸先輩が築いた現在を確実に受け取っている。その歴史を振り返ると、時代を築いてきた賢者の智慧(般若)に巡り会う。

患者のための薬局ビジョン、健康サポート薬局、かかりつけ薬剤師・薬局と昨年の一連の出来事は、将来の薬剤師像を変えていくことになるだろう。換言すれば「患者さん」に一生を掛けて寄り添う「薬剤師」が求められる時代へと向かっているのだと感じる。そう言えるのも、昨年の若手薬剤師フォーラムで掲げたサブテーマ「Touch to the Next」によって、「薬剤師道」を引き継いでいるからではないか。その意味でも、鈴木氏への答えは、具体的な解ではなく、哲学者ハンナ・アレントが唱えた考えないことは、罪であるかと思っている。

今年二月には、次期参議院選挙推薦候補者が決まり、三年ごとに行われる参議院選挙に取り組み。さあ、始めよう諸先輩から受け取った智慧をもって!!



国会見学 午前10時

全国からの参加者が8班に分かれて、日頃ニュースでしか見ることのできない国会議事堂内を見学。議事堂の中はテレビの映像からは感じ取ることのできない重厚な空気に包まれており、薬剤師職能が様々な法律や規則と深い関わりがあり、それがこの場で決められていることを改めて認識した。

見学後、バスでクロスウェーブ船橋へ移動。いよいよフォーラム開始!



開会挨拶 午後1時30分

●山本会長

「今回の選挙で若い力が動いた所は結果が出ている。薬剤師議員を送り込むことが政権を安定し、国民の生活が安定することにつながる。これからは皆さんが結果を出す番。3年先、6年先に仲間が増えるように頑張ってください」と挨拶があった。



来賓挨拶 1 午後1時35分

●藤井もとゆき参議院議員

「現在、参議院議員は242名いるが薬剤師は1人しかいない。例えば2つの委員会で医療に関する話があっても1つは聞くことすらできない。3年毎に組織内候補者を立て、国会に送り込むことができる力を持たなければならぬ」と、その必要性を説いた。



来賓挨拶 2 午後1時45分

●とかしきなおみ衆議院議員

「これからは患者中心の医療体制、患者に寄り添えることが大事になる。薬局・ビジョンを何故、厚生労働省が書いたのか。健康サポート薬局と共に薬剤師が期待されているから」と、励ましの言葉を送った。



講演 1 午後2時5分

「国政報告」

●国務大臣 松本純衆議院議員

「今回、国家公安委員会委員長・海洋政策・領土問題担当、国土強靱化担当、内閣府特命担当大臣

講演 2 午後3時5分

「薬局の将来像と地域包括ケアシステムの中の薬局・薬剤師」

(消費者及び食品・安全・防災)と覚えきれない仕事を与えられていて、我が国の危機管理を任されている。先日、鳥取で14:07に地震が起きた。震度6弱で緊急招集がかかった。連絡が来たのが14:09、官邸に入ったのが14:15と常に緊急体制に備えて待機していなければならぬ」と、その重責の一端を語った。



講演 3 午後3時55分

「日本薬剤師会の諸課題と政治」

●日本薬剤師連盟 石井副会長



講演 4 午前9時35分

「日本薬剤師連盟の歴史」



この全国薬剤師フォーラムは平成20年にスタートし当初、若手薬剤師を対象に政治の大切さを理解してもらうために毎年開催されていたが、近年は藤井もとゆき後援会活動を中心とした内容となり、参加対象者が都道府県薬剤師連盟の役員であったり、会長・幹事長・女性役員であったりと、その時々状況により変化があった。今回はその原点回帰のフォーラムとなる。

# 『薬剤師フォーラム2016』 Touch to the Next! ~

この後のスモールグループディスカッション(以下SGD)に向けた講演が行われた。

SGD 1 午後4時45分

1グループ11名、12名の8班に分かれて「薬剤師のこれから」についてディスカッションを開始。初めての顔合わせで緊張が隠せない。



懇親会 午後7時

尾島副会長の開会挨拶に続き地元千葉県薬剤師連盟石野会長の乾杯の発声が始まった。ブロック別のテーブルに分かれていたが、時間と共に打ち解けて他のブロックとの交流も盛んに行われた。2時間後、根本総務のガンバルゾールでお開きとなった。



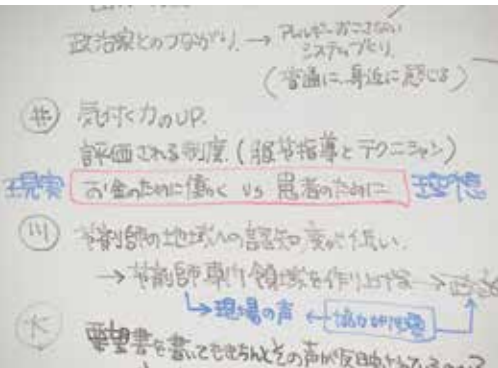
石野千葉県会長



尾島副会長

SGD 2 午後9時

懇親会でリラックスできたためか日頃の思いがたくさん飛び出していた。明日のグループ発表に向けて取りまとめるのが大変。予定時間をオーバーし午前様に。皆さんお疲れ様でした。



2日目開会挨拶 午前9時30分

●手塚副幹事長

「このフォーラムで薬剤師会と薬剤師連盟の役割を理解し、我々から次の世代につなげていきたい」と挨拶。



講演 4 午前9時35分

「日本薬剤師連盟の歴史」

●岩本副会長兼幹事長



グループ発表 午前10時45分

●1〜8グループ

休憩の後、グループ毎に全員が登壇し昨日の成果を発表。







**● 荻野副会長**  
 「この2日間の体験を地元伝えてほしい。薬剤師連盟は3年後に組織内候補者を立てる気運が高まっている。その時は皆さんが全国を一つにまとめ薬剤師議員を増やしてほしい。」と、締めくくり閉会となった。

**総評**  
 午前11時40分



**修了証授与**  
 午前11時35分  
 今回の最年少参加者が代表となり会長より修了証を受け取った。若いって良いね。

※グループ発表報告書はホームページに掲載してあります。

平成28年10月22日(土)、23日(日)に千葉県クロスウェーブ船橋において「全国若手薬剤師フォーラム2016」が開催された。今回の参加者は40歳以下の若手薬剤師で全国フォーラム未経験者を対象に薬局・病院・卸・大学院より全国から94名の参加者を迎え開催された。まずはフォーラム前に国会見学からスタート!

# 原点回帰!! 『全国若手薬剤師フォーラム2016』 「語れ! 薬剤師の未来像」



## 自民党・薬剤師問題議員懇談会が開催される!!

平成28年11月18日、薬剤師問題議員懇談会の世話人が都内ホテルで開催された。世話人は、議員懇談会の事務局長である藤井議員の進行で始められ、伊吹会長の挨拶に続いて、都道府県薬剤師連盟から推薦された新規入会希望議員(衆:5名、参:3名)の入会及び平成27年6月以降の会計報告が諮られ、了承された。続いて、日本薬剤師連盟の山本会長より夏の参議院議員選挙のお礼を交えての挨拶がなされ、続いて日本薬剤師会の森副会長から「日本薬剤師会の課題と要望」について、資料を用いて説明が行われた。内容は、医療機関敷地内への薬局の誘致問題と来年度政府予算・税制改正要望であり、意見交換の後、藤井議員より厚生労働省の担当部局に、課題と要望について伝えることとされた。その後、野田毅衆議院議員と尾辻秀久参議院議員を世話人としてはいかがかとの意見が出され、了承され、閉会となった。

世話人の一週間後の11月25日には、議員懇談会の総会が衆議院第一議員会館会議室で開催され、76名の議員、105名の代理人が駆けつけた。伊吹会長の挨拶、新規入会議員の報告及び会計報告がなされ、続いて、世話人と同様に、日本薬剤師会より課題と要望が説明された。特に、医療機関敷地内への薬局誘致については、「患者のための薬局ビジョン」の趣旨に逆行するものであることを強く訴え、多くの議員から質問が出され、十分な問題意識を持っていただいと考える。また、同日の経済財政諮問会議に提案される可能性のある薬価の毎年改定について、断固反対であることも訴えた。活発な意見交換の後、閉会となった。



衆議院議員 松本純  
国務大臣・国家公安委員会委員長・薬剤師



### 国民の健康維持・増進のために職能代表を！

昨年8月3日の第三次安倍第二次改造内閣で、国務大臣国家公安委員会委員長、海洋政策・領土問題担当大臣、国土強靱化担当大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全、防災）に任命されました。東京薬科大学を卒業（薬剤師）し、製薬企業を経て、生まれ育った野毛町で薬局経営。小学校PTA会長、横浜JC専務理事、中区薬剤師会長などを経て、地域活動にも携わり、大道芸実行委員長など街づくり運動に熱心に取り組んできたことから、平成2年に横浜市会議員（3期）に、そして、平成8年には衆議院議員に初当選し、現在6期目です。就任以来、重責を担い、国民の安全・安心に密接に関連し、危機管理を要諦とする分野を担当することとなり、日々、緊張感を持って、幅広い課題に取り組んでいます。薬剤師国会議員として、昨今の急速な医療技術の高度化と併せて標準的な薬物療法は、日々刻々と変化し、医薬品情

参議院議員 藤井基之  
自民党総務副会長・薬剤師・薬学博士



新年あけましておめでとうございます。日本薬剤師連盟の会員の皆様には輝かしい新年を迎えること、心よりお慶び申し上げます。

昨年夏の参議院選挙後の党役員人事において、自民党の総務副会長を命じられました。また国会では、参議院の厚生労働委員会及び決算委員会の委員に加え、沖縄・北方問題特別委員会の委員長に指名されました。与えられた職責をしっかりと果たし、誰もが安心して暮らせる社会づくりに尽力して参りたいと思います。

さて、昨年は薬剤師・薬局に関わる大きな節目の年となりました。4月の調剤報酬の改定では、厚生労働省が示した「患者のための薬局ビジョン」を受けて抜本的な見直しが行われ、かかりつけ薬剤師・薬局の機能を高く評価するものとなりました。また、薬剤師が地域の健康情報の拠点となり、住民の主体的な健康の維持・増進を支援する「健康サポート薬局」の制度もスタートしました。

報の提供や医療安全の確保の点で、薬剤に関する最先端の専門的知識を有する薬剤師が担う役割を痛感しており、薬剤師の果たすべき社会的使命を全うし、国民・患者さんに身近な立場で、健康の維持・増進を図り、安全・安心を提供できる「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」としてその職能を発揮していくことの重要性が増しています。その実現のためにも、力を合わせて努力すると共に、政治的な発言力を増すために、国会に職能代表者を送り出しましょう。改めて感謝申し上げますと共に、共に頑張りましょう。



# 新年挨拶

## 「薬剤師への期待」



衆議院議員 とかしきなおみ  
自民党厚生労働部会長・薬剤師



明けましておめでとうございます。山本信夫会長をはじめ会員の先生方におかれましては健康やかに新年をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

私は皆様の力強いご支援により2012年に国政に復帰させて頂き、その後すぐに厚生労働大臣政務官、2015年10月からは厚生労働副大臣、現在は自民党厚生労働部会長を拝命しております。厚生労働行政には課題が山積していますが、特に年

衆議院議員 逢坂誠二  
衆議院法務委員会筆頭理事・薬剤師



明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春を迎えること心からお慶び申し上げます。

誠にありがとうございます。薬は国民の生命に深く関わるものであり、それを扱う薬剤師の役割も国民の健康や生命のためにも大切なものです。処方監査、調剤、製剤等の薬物療法の根幹をなす業務はもとより、薬剤師には、個々の患者

金や医療制度改革の議論で、私は国が薬局の役割に対して、大きな期待を寄せているのを改めて感じています。それは2015年10月に厚生省が初めて特定の医療職種に方向性を打ち出した「患者のための薬局ビジョン」にも示されており、日本の医療体制の価値観を薬の業界から変えて欲しいというメッセージが明確に表れています。

国が推進している「地域包括ケアシステム」における薬剤師の役割は「服薬情報の一元化」「在宅対応」「健康サポート機能」「医療と介護等の橋渡し役」など多岐に渡ります。私はこれらに加えて、これからの薬剤師は調剤で職能を発揮する時代は終わり、カウンセリングで職能を発揮する時代になるのではないかと考えています。患者さんの人生に寄り添い、人間の摂理にかなった「薬の飲む量を少なく、飲む期間も短く」する為に薬剤師は力を尽くす。将来的に薬剤師は「病気を発症させないようにする医療」の一翼を担う存在を目指すべきではないかと考えています。

皆様の双肩に、我が国の社会保障制度の未来がかかっていること申し上げても過言ではありません。本年も引き続き尽力頂きます事をお願い申し上げます。結びに日本薬剤師連盟の益々の発展をお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

政府は、昨年11月の経済財政諮問会議で、医療費の伸びの要因の1つになっている薬の価格を引き下げるため、毎年、薬価を改定するよう求める提言を踏まえ、薬価制度の抜本的改革に向けた基本方針を取りまとめる意向を示しました。しかしながら、薬は国民の生命に深く関わるものであり、医療費の抑制ありきの薬価引き下げは容認できません。

経済財政諮問会議の民間議員の提言は、市場原理を優先する危ういものです。皆様がプロフェッショナルとして取り組んでいる重責をしっかりと果たすように、国民の健康や生命を損なう判断が正されるように働きかけていくことが私たち薬剤師資格を持つ国会議員の果たす役割であり、過度な市場原理に偏重してないかをチェックしていく必要があります。そのためには、薬剤師の一人として、国政の中で全力で取り組ませていただきます。

### 編集後記

うちには今年、3人の受験生がいる。まずは小6の娘。算数と理科が大の苦手、塾ではいつも居残り。そんな娘が可愛いことに、ママと同じ薬剤師になりたいと言ってくれている。理由はママの仕事が楽しそうだから。私、楽しそうに仕事してるんだ！

次に大学目指して二浪中の息子。彼は身を粉にして働く？母の姿を見てか、薬剤師にはならないと言って文系に進んだのに、突如理系に転向、何を目指しているのか、親にはシークレットだそう。大丈夫だろうか……。

最後の一人は薬剤師国試浪人中の薬局のスタッフ。昨年就職して、我が薬局の薬剤師不足を解消してくれる予定だったのが……しかし1年間、事務スタッフとして薬局を手伝ってくれた中で、より、薬局薬剤師への思いが強まったそう。実習に来る学生にも薬剤師の将来ビジョンを私よりしっかりと説明してくれる。今年は……大丈夫だね！

ふと考える。自分の子供に薬剤師になってもらいたいと思ってる薬剤師はどれくらいいるだろうか。未来に希望の持てる職業であるだろうか、この答は私たちが出していかなくては行けないと、身に染みて思う。

この号が届くころは受験の真っ最中、今年は笑える春が来るだろうか……お願いだからみんな、片付いて。母の思いは届くのか、どうご期待(笑)

### 広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 鳥海 良寛、大澤 泰輔
- 大原 整、榑方 絢子
- 近藤直緒、美根本 陽充

(N・K)